

山口大学医学部附属病院管理型歯科医師臨床研修プログラム
研修目標

1. 歯科医師臨床研修「歯科基本コース」(1年次)

A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)を身につける

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 身につけるべき資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・移行に配慮した診療を行う。

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

- ① 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。
適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

C. 基本的診療業務を身につける

1. 基本的診療能力等

- (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画
- (2) 基本的臨床技能等
- (3) 患者管理
- (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

- (1) 歯科専門職の連携
- (2) 多職種連携、地域医療
- (3) 地域保健
- (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

2. 歯科医師臨床研修「アドバンストコース」(2年次)

[到達目標]

より広範囲の歯科医療についての診療能力(態度、知識および技術)を習得し、口腔外科の基礎を習得する態度を身につける。

[行動目標]

1) 救急処置

歯科医療を安全に提供するために必要な救急処置に関する知識、技能を習得する。
研修すべき事項等

- ① バイタルサインの観察・評価を行い、適切な対処法を説明する。
- ② 口腔顔面外傷の処置を実践する。
- ③ 歯科診療時の全身的合併症について説明し、対処する。
- ④ 一次救命処置を実践する。
- ⑤ 二次救命処置を習得する。

2) 高頻度口腔外科治療

高頻度の口腔外科疾患について学び、基本的な口腔外科疾患に対する診断、治療能力を身につける。

経験すべき疾患・症例等

- ① 高齢者、全身疾患を有する患者の歯科治療
- ② 埋伏智歯抜歯
- ③ 口腔内消炎手術
- ④ 口腔外消炎手術
- ⑤ 顎関節脱臼非観血的整復
- ⑥ 創傷処理・縫合
- ⑦ 歯根嚢胞
- ⑧ ドライソケット、抜歯窩治癒不全
- ⑨ 歯の脱臼
- ⑩ 歯槽骨形成
- ⑪ 口腔出血
- ⑫ 小帯形成術
- ⑬ 粘液嚢胞摘出術
- ⑭ 静脈穿刺
- ⑮ 各種画像診断の評価

3) 入院患者管理

入院患者管理に必要な知識、態度、技能を習得する。

指導歯科医の指導の下に以下の項目について学ぶ。

- ① 入院予約、入院手続き
- ② 患者・家族とのコミュニケーション
- ③ 患者・家族への説明（病状、検査、手術、経過、処置、リスクなど）
- ④ チーム医療の実践
- ⑤ 入院診療録の作成
- ⑥ 臨床検査の指示と評価
- ⑦ 入院計画書の作成
- ⑧ 処方箋の作成
- ⑨ 退院時指導
- ⑩ 退院時サマリーの作成
- ⑪ 関連各科との連携
- ⑫ 診療チームカンファレンス